



8月14日(水) せたな町民ふれあいプラザを会場に、平成25年度「せたな町成人式」が開催されました。今年は平成5年4月2日～平成6年4月1日に生まれた対象者69名のうち62名が華やかな装いで出席しました。式典では小瀬将史さん(瀬棚区)と田丸末侑さん(瀬棚区)が新成人を代表して誓いの言葉を読み上げ(表紙)、成人としての新たな気持ちを伝えました。式典後は記念写真の撮影、そして祝賀会が行われ、懐かしい顔ぶれに皆さん思い出話や近況報告など話に華も咲き、人生一度きりの成人式を楽しんでいました。なお、式典前にはせたな町出身のフォトジャーナリスト「残間正之」氏を講師に招いた特別講演会(写真左下)も開催され、「夢は多い方がいい。諦めなければいつか叶う!」と題し、若いうちにチャレンジする大切さや、夢を叶えるには夢をつかむ努力をしてほしいなど、経験談を中心に成人の皆さんに向けてお話をしてくださいました。

編集後記

●体験で来ていた伊藤君は呑み込みが早く、自分もまだできない広報の誌面づくりをこなしている姿に最初は感心していましたが、自分も感心する前に頑張らないと、未熟らしい後輩です。初めて漁火まつりスタッフとして参加しました。私が担当だった活イカコーナーの生簀は、一週間かけて夜に作ったもので、話は聞いていましたが、まさか本当にそこまで作業するとは思わず、あまりの過酷さに当日には体力もほぼ限界で見張り役として泊り込んだ先輩たちには脱帽です。仕事以外で先輩たちからいろいろ学ぶことができたことも内容の濃い一週間でした。(兒島)

●選挙・イベント・締切と、もうお腹いっぱいの一カ月でした。その合間を縫って職場体験の受入もありました。広報の誌面づくりを体験するのと、サブライズにも、伊藤君はしっかりと自分の考えを持って取組んだのが何よりも素晴らしいことだと思います。最終的にはこんな記事になりました。最終的には、自分の作った後、どこかのように変わったか確認してみてください。おかげで、広報誌がどのように作られているかをお伝えできるいい機会になりました。今年のせたな3天イベントは珍しく、これも天気に恵まれました。数年ぶりで2日間晴天だった漁火まつりでは、スタッフでしたが合間に見れた花火の圧巻のラストに感動。年々涙腺のツボが緩んで私は、感動で不意で持ち場へ戻ると、タオルを使うほど感動で号泣しているSTNの真ん中の方が…。上には上ですね。(尾野)

